改訂 交差点改良のキーポイント

一般社団法人 交通工学研究会　編集　　丸善出版 株式会社　発売所　ISBN978-4-905990-75-8
平成 23 年 1 月発行 A5 版･114 頁 本体価格 2,000 円+税 会員価格 1,800 円+税



本書は、現場の第一線で交通や道路の管理と運用に関わっている方々を対象に、交差点の改良に当たってカギとなるポイントを提供するものです。

平成 3 年に初版が発刊された「交差点改良のキーポイント」は、わかりやすい、内容が濃い、現場ですぐ使える、と高い評価を受けてきました。

このたび、交通工学の専門家による検討会を 2 年にわたって行い、最新の知見やデータに基づいて全編にわたって内容の見直しを実施した結果、改訂版が実現しました。

本書ではまず、「望ましい交差点とはどのようなものか」を整理し、次に、問題となっている交差点を改良するために、「どのような手順を踏む必要があるのか」を簡潔に述べています。そして、「交差点改良における、基本かつ最も重要なキーポイントは何か」を、わかりやすく説明しています。

自ら問題を見出した場合、あるいは地域の方々から問題を指摘された場合には、速やかに問題の解決に取組むことが必要です。現場の第一線の取組に役立ち、安全・円滑な交差点への改善効果が早期に出現できるよう時代に即した記述内容に改訂しました。

さらに、交差点にも継続的PDCAサイクルの注視が必要であることを追記し、「交差点の多様な利用者に関する考慮事項」を新たにポイントに加えました。

全編にわたってよりわかりやすく使いやすくするために、キーポイントの構成を整え、「用語と解説」やイラスト・図面も増強するなど行いました。また、本文や図などのレイアウトもすべて見直し、読者が一目で分かるように工夫を加えています。

本書は、ていねいに記述、構成されていますので、道路交通に直接携わっていない方などにも、幅広く役に立つ図書としてお勧めします。

― 目 次 ―

Ⅰ　交差点改良の基本
Ⅰ－1　交差点改良にあたって
Ⅰ－2　交差点改良の基本手順
Ⅰ－3　交差点の交通処理能力の検討
Ⅰ－4　交差点設計の基本事項

Ⅱ　交差点改良のキーポイント
Ⅱ－1　交差点形状の適正化
Ⅱ－1－1　面積、枝数、形状
Ⅱ－1－2　変形交差
Ⅱ－1－3　変則交差
Ⅱ－2　交差点流入部の車線運用
Ⅱ－3　交差点の整流化
Ⅱ－4　交通制御の見直し
Ⅱ－5　交通安全施設の導入
Ⅱ－6　停止線・横断歩道・その他の重要事項
Ⅱ－6－1　停止線
Ⅱ－6－2　横断歩道の設置
Ⅱ－6－3　歩道の設置
Ⅱ－6－4　見通し
Ⅱ－6－5　バス停留所
Ⅱ－6－6　排水施設
Ⅱ－6－7　多様な利用者への配慮
キーポイントの索引
用語と解説
おもな参考文献
主要文献の目次

ご注文は・・・
当会ホームページよりご注文願います　http://www.jste.or.jp/

発行 (一社)交通工学研究会 TEL:050-5507-7153 Fax:03-6410-8718
発売 丸善出版(株) TEL:03-3512-3256　Fax: 03-3512-3270 http://pub.maruzen.co.jp/

改訂

交差点改良のキーポイント

（社）交通工学研究会

ま　え　が　き

本書は、現場の第一線で交通や道路の管理と運用に関わっている方々を対象に、交差点の改良にあたってカギとなるポイントを提供するものです。

交差点は、歩行者、自転車、自動車など、さまざまな利用者が交差する場所であり、交通混雑や交通事故、またヒヤリハットの多発など、問題を抱えることがしばしば見られます。現場の第一線において、みずから問題を見出した場合、あるいは地域の方々から問題を指摘された場合には、速やかに問題の解決に取組むことが必要となります。その交差点の問題は何なのか、そして問題の原因は何なのか、さらに問題の解決はどのような方法で行うのか、これらを実際に行うのは読者の皆さんの取組にかかっています。本書は、この取組に役立つように書かれています。

本書は 2 部構成です。まず、「望ましい交差点とはどのようなものか」、問題となっている交差点を改良するために、「どのような手順を踏む必要があるのか」、交差点改良の基本を簡潔に述べています。そして、「交差点改良における、基本かつ最も重要なキーポイント」を整理し、わかりやすく説明しています。交差点改良における問題解決のためのヒントが書かれていますから、現場における問題の多くの部分は、本書をもとに解決できるものと考えています。

本書は、平成 3 年に初版が発刊された「交差点改良のキーポイント」を全編にわたって見直した改訂版です。初版は、(財)全日本交通安全協会から(社)交通工学研究会が受託した研究において、専門家委員会（岩崎征人委員長）が検討した成果を世に問うたものでした。初版発刊から20年、わかりやすい、内容が濃い、現場ですぐ使える、と高い評価を受けてきたこの本にもこのたび「改良」が実現しました。

キーポイントの構成を整えたほか、見出しや記述内容も改訂しています。時代に即したポイントも追加しました。また、横断歩道の標示などを始めとして、図を全面的に見直しています。

本書の改訂にあたっては、平成20、21年度に(社)交通工学研究会が(社)日本損害保険協会から助成を受けた研究の成果を基にしています。この研究においても専門家によって構成された委員会を設置し、現代の交差点に係る安全性や円滑性をさらに図るために議論を深め、検討作業を進めました。

(社)日本損害保険協会では、安全社会を実現するためにさまざまな啓発活動を積極的に進めておられます。交差点改良に携わる現場の第一線の担当者のために、研究成果を本書に反映することを快諾いただき、ここに改訂版を発刊することができました。厚く御礼を申し上げます。

平成23年1月

委員長　尾崎晴男

＜目　　次＞

Ⅰ　交差点改良の基本…… 1

Ⅰ－1　交差点改良にあたって…… 1

Ⅰ－2　交差点改良の基本手順…… 3

Ⅰ－3　交差点の交通処理能力の検討…… 9

Ⅰ－4　交差点設計の基本事項…… 12

Ⅱ　交差点改良のキーポイント…… 15

Ⅱ－1　交差点形状の適正化…… 15

Ⅱ－1－1　面積、枝数、形状…… 16

Ⅱ－1－2　変形交差…… 32

Ⅱ－1－3　変則交差…… 37

Ⅱ－2　交差点流入部の車線運用…… 39

Ⅱ－3　交差点の整流化…… 50

Ⅱ－4　交通制御の見直し…… 58

Ⅱ－5　交通安全施設の導入…… 66

Ⅱ－6　停止線・横断歩道・その他の重要事項…… 78

Ⅱ－6－1　停止線…… 78

Ⅱ－6－2　横断歩道の設置…… 80

Ⅱ－6－3　歩道の設置…… 86

Ⅱ－6－4　見通し…… 88

Ⅱ－6－5　バス停留所…… 90

Ⅱ－6－6　排水施設…… 92

Ⅱ－6－7　横断者への工夫…… 93

＜キーポイントの索引＞…… 96

＜用語と解説＞……100

＜おもな参考文献＞……106

＜主要文献の目次＞……107